

39(平成7年度)

高崎市文化財調査報告書第139集

高崎市内遺跡埋蔵文化財  
緊急発掘調査報告書10

1996

高崎市教育委員会

## 序

全国で唯一、西暦2000年に市政施行100周年を迎える高崎市は、市中心部では再開発事業・市庁舎建設工事、郊外では市道環状線全面開通・北陸新幹線工事など交通体系の発展により、その都市機能を発展させつつあります。その他には文化行政の充実、情報のネットワーク化、福祉などを重点とし、国際化・地方分権に対応できる街づくりを進めています。また、都市機能の進歩と共に民間による開発も数多く計画され、さらに街が発展することが予想されます。

大規模な開発行為には事前の遺跡発掘調査が必要となります。その成果の中には街づくりに役立つものもあります。高崎市を含めた群馬県は災害が少ない地域とされていますが、地中には火山噴火により壊滅状態となった水田の跡、地震による液化化現象の跡などあり、災害対策の必要性を示しています。

本報告書は、開発行為に伴う遺跡確認調査の概略をまとめたものです。ひとつひとつの調査は小規模なものではありますが、調査を積み重ねることにより高崎地域の古代を広く把握することができ、その結果は未来の高崎市の発展にも役立つものになることでしょう。

最後になりましたが、調査実施にあたりご協力、ご指導いただいた関係諸機関の方々に深く御礼申し上げます。

平成8年3月  
高崎市教育委員会  
教育長 網 中 正 昭

## 例 言

1. 本書は、平成7年度国庫補助事業に係わり、市内各所における開発行為に伴い実施した試掘調査の成果報告である。
2. 試掘・立会調査は志田登が担当し、神戸聖語、村井田雅明、関口修、黒田晃、曾江哲也の協力を得た。
3. 本書の編集は志田が担当した。遺物実測・拓本・押図作成・石膏復元は、矢島なつ美・武井幸子・藤巻兵衛が行った。
4. 試掘調査に係わる書類、図面、遺物は高崎市教育委員会が保管している。

## 凡 例

1. 遺構平面図、遺物実測図には各国スケールを付し、縮尺を表した。
2. 本書では略号を用い、溝跡をSDと表した。
3. 各調査に付した番号は一覧表に対応するもので、資料整理時においてもその番号を使用した。
4. 表記した北は、すべて磁北を表す。
5. 表記した高さは、各調査ごとに任意に設定したベンチマークに対する高さである。
6. 試掘調査一覧表には前年度報告書未掲載の成果も掲載した。
7. 「平成7年度試掘調査位置図」は、50,000分の1高崎市全図を原図として使用した。
8. 各調査の位置図は、高崎市発行2,500分の1地形図を原図として用い、縮尺を10,000分の1としたものである。
9. 遺物実測図に付した番号は、試掘調査番号となる。

## 目 次

|                  |    |
|------------------|----|
| 序                |    |
| 例言               |    |
| 凡例               |    |
| 平成7年度における試掘調査の概要 | 1  |
| 調査内容             | 5  |
| 3. 京目町天水         | 5  |
| 11. 問屋町西         | 7  |
| 15. 倉賀野町東上正六     | 8  |
| 22. 京目町稲萩        | 11 |
| 33. 飯塚町慈音寺       | 14 |
| 56. 上大瀬町若宮       | 16 |
| 68. 日高町村前        | 18 |
| 出土遺物             | 20 |
| その他の試掘調査         | 21 |

## 平成7年度における試掘調査概要

平成7年度の開発行為に伴う試掘・立会調査件数は80をこえ、平成6年度の77件を上回る。その中には本調査に至る開発が9件含まれている。開発の原因をみると、マンション・アパート等の共同住宅建設が20件、分譲住宅建設に伴う造成工事が13件となり、住宅関連の開発が4割を越える。店舗建築等のその他の民間企業による開発が26件、公共事業に伴う開発が9件などとなっている。試掘調査の結果、遺跡と確認された開発地は7割程となり、遺跡が存在しない、もしくは既に破壊されていた対象地は少ない。

試掘調査によって確認された遺跡の内容を時代別にみると、旧石器・縄文時代の遺構・遺物の検出はない。64幕高町吹付の周辺では縄文遺物を表掘できるが、対象地内は表土が移動していると考えられ、遺物の検出はできなかった。また、6石原町清水下周辺においても縄文遺物を表掘できる。

弥生時代では、遺構は未確認ではあるが、多量の遺物が出土した73上豊岡町上後原において集落の存在が推定される。また、73の開発に伴う道路拡幅予定地である78上豊岡町引間においても遺物の出土が多い。

古墳時代では、8上並榎町八反田において大型の前方後円墳であった上並榎稲荷山古墳周濠を確認し、埴輪片が出土した。15倉賀野町東上正六では浅間山古墳周濠を検出した(本文8ページ)。18倉賀野町甲大道南では烏川左岸に存在する大道南古墳群中の1基となる古墳の墓石を検出した。44栗野町一田では墳丘は隣地であるが、山崎寺の古墳裾部墓石と埴輪片(20ページ)を検出した。平成6年度試掘番号31栗野町五百山と同様に御郎入古墳群中の1基となる。59八幡町大島原では大島原古墳群中の古墳石室を確認した。対象地内には複数の古墳の存在が推定された。8上並榎町八反田以外は開発者の協力を得て保存となる。

古墳時代住居跡の存在が推定できる試掘調査は、23山名町南若宮、34倉賀野町神神、63芝塚町などがある。その他に遺物が出土した調査は、14上大瀬町薬師、26江木町大井戸、56上大瀬町若宮、80高松町となる。

古墳時代水田跡では、浅間C墓石(4世紀中葉浅間山噴火降下)に覆われた古墳時代初期水田跡を19下小島町町頭、27中尾町村前において検出した。また、681高町村前においても浅間C墓石下面を確認したが、水田であるか不明である(本文18ページ)。標本F A(6世紀初頭標本山二ヶ岳噴火降下火山灰)および二次堆積層に覆われた小区画水田跡を19下小島町町頭、28下小島町茨城地、32・40飯塚町大道東、49飯塚町屋敷前より検出した(一部は水田施設未確認)。33飯塚町慈音寺では標本F A下面に畦畔を確認できない(本文14ページ)。

奈良・平安時代では、遺物が出土し住居跡の存在が推定できるのは、6石原町清水下、14上大瀬町薬師、23山名町南若宮、51倉大瀬村西、78上豊岡町引間などがある。

1108年(天仁元年)浅間山噴火に伴い降下堆積した浅間B墓石に覆われた平安時代後期水田跡は、26ヶ所において確認された。河川の影響を受けている地区や丘陵地を除いて、ほぼ市内全域より検出している。

中世では、34倉賀野町荒神において井戸跡を検出し、鉢片(20ページ)が出土した。遺構は確認できなかったが、63芝塚町において遺物(21ページ)を検出している。大瀬城址内となる51倉大瀬村西、和田村付近となる80高松町では試掘調査における中世の検出はない。

近世では、高崎城内となる48・55・80高松町において試掘・立会調査を実施したが、55より土塁斜面の一部を検出したのみであった。48・88は削平された土塁部分と推定される。

今年度の開発傾向を見ると、阪神・淡路大震災の影響により基礎を強固とする構造物が多く、遺跡面に達する工事計画も少なくない。試掘調査において遺跡が確認され、高崎市遺跡調査会による本調査を実施した遺跡は、平安時代後期水田跡を調査した上中居平原Ⅰ遺跡・上中居平原Ⅱ遺跡・旭町Ⅰ遺跡・高開東沖Ⅱ遺跡・飯塚大道路遺跡・岩押町Ⅱ遺跡、古墳時代小区画水田跡を調査した下小島町頭Ⅱ遺跡、飯塚大道路遺跡、古墳時代初期古田跡を調査した下小島町頭Ⅱ遺跡、中尾村前Ⅱ遺跡、古墳周濠を調査した上並榎八反田遺跡がある。

遺構・遺物共に検出されなかった試掘調査においてその原因を見ると、河川の影響を受けている対象地が7件あり、遺跡が存在しない地区範囲を特定する資料となる。既施工の開発行為により破壊されていた対象地が5件、その他の理由により検出されなかった対象地が5件となる。

平成7年度高崎市内試掘調査一覧表

| №  | 所在地              | 開発内容  | 開発面積      | 内 容                       | 備 考       |
|----|------------------|-------|-----------|---------------------------|-----------|
| 1  | 東沢町3丁目28         | 分譲住宅  | 1,389.9㎡  | 一部に浅間B軽石堆積するが、遺構なし        |           |
| 2  | 八幡町字中谷津980-1     | 分譲住宅  | 2,066     | 一部に浅間B軽石堆積する 住居跡あり        |           |
| 3  | 京目町字天保6-1        | 通信用鉄塔 | 225       | 浅間B軽石下水田跡                 | 5ページ      |
| 4  | 上笠原町字新井88-1他     | 店舗    | 6,265     | 浅間B軽石下水田跡 基礎部分調査          |           |
| 5  | 緑町1丁目5-9         | 共同住宅  | 1,276     | C軽石含む黒色粘土層があるが、遺構・遺物なし    |           |
| 6  | 石原町字清水下2024      | 個人住宅  | 736.31    | 遺物出土 住居跡確認 (保存)           |           |
| 7  | 山名町字大319         | 水路    |           | 遺物は少ないが出土する               |           |
| 8  | 上笠原町字八反田181-1    | 分譲住宅  | 1,057     | 上笠原町山丘墳場部分 墳場出土           | 上笠原八反田遺跡  |
| 9  | 笠原町69-9他         | 店舗    | 421.43    | 浅間B軽石下水田跡 (保存)            |           |
| 10 | 倉賀野町字下福前1068     | 郵便局   |           | 遺構・遺物なし                   |           |
| 11 | 岡原町西1丁目10-8      | 共同住宅  | 263.29    | 浅間B軽石下水田跡                 | 7ページ      |
| 12 | 上中沢町字平塚42-1他     | 研究所   | 1,311.19  | 浅間B軽石下水田跡                 | 上中沢平塚B遺跡  |
| 13 | 筑前町4-8           | 共同住宅  | 1,046.00  | 一部に浅間B軽石堆積するが、遺構なし        |           |
| 14 | 上大瀬町字瀬原1280-1他   | 分譲住宅  | 1,672.60  | 平安時代住居跡 溝跡 (盛土保存)         |           |
| 15 | 倉賀野町字東上正6318-1他  | 店舗    | 3,816.16  | 浅間山丘陵跡 浅間B軽石堆積 (保存)       | 8ページ      |
| 16 | 井野町字河成216-1      | 共同住宅  | 951.71    | 遺構なし                      |           |
| 17 | 岩井町111-8         | 共同住宅  | 1,098     | 浅間B軽石下水田跡                 |           |
| 18 | 倉賀野町字平大田南3131-2  | 工場    | 3,231.39  | 古墳あり 遺物出土 (盛土保存)          |           |
| 19 | 下小島町字福盛588他      | 分譲住宅  | 2,257.56  | F A下水田跡 C軽石下水田跡 一部にF D埋積  | 下小島町福盛B遺跡 |
| 20 | 緑町1-15-9         | 貸事務所  | 226.0     | 遺構なし                      |           |
| 21 | 上中沢町字平塚77-1      | 共同住宅  | 1,508.00  | 浅間B軽石下水田跡                 | 上中沢平塚B遺跡  |
| 22 | 京目町字福盛693-1他     | 遊技場   | 6,881     | 浅間B軽石下水田跡                 | 11ページ     |
| 23 | 山名町字南香宮263-7他    | 店舗    | 500       | 遺物出土 遺構未確認                |           |
| 24 | 上中沢町字平塚73-1他     | 共同住宅  | 940.8     | 浅間B軽石下水田跡 (盛土保存)          |           |
| 25 | 石原町字清水下1990-1他   | 分譲住宅  | 1,787     | 一部に浅間B軽石堆積するが、遺構なし        |           |
| 26 | 江木町字大井川1032-2他   | 共同住宅  | 4,318     | 一部から遺物出土 他は遺構なし (盛土保存)    |           |
| 27 | 中沢町字村前380-1      | 病院増築  | 710       | 浅間C軽石下水田跡 一部に浅間B軽石堆積      | 中沢村前V遺跡   |
| 28 | 下小島町字筑紫路55-16    | 共同住宅  | 443.67    | 地名F A下水田跡 一部に浅間B軽石下水田跡    |           |
| 29 | 旭町               | 再開発事業 |           | 浅間B軽石下水田跡 洪水層下水田跡         | 旭町1遺跡     |
| 30 | 高岡町字東井940        | 菜場    | 4,710     | 浅間B軽石下水田跡                 | 高岡東井V遺跡   |
| 31 | 寺尾町字赤田、下         | 分譲住宅  |           | 遺物分布                      |           |
| 32 | 飯塚町字大東1241       | 駐輪場   |           | 浅間B軽石下水田跡 (F A) 洪水層下水田跡   |           |
| 33 | 飯塚町字香宮寺1013      | 共同住宅  | 695.00    | 浅間B軽石下水田跡 地名F A埋積         | 14ページ     |
| 34 | 倉賀野町字東井2195-1    | 分譲住宅  | 1,537.34  | 古墳・平安時代遺物出土 住居・井戸跡 (盛土保存) |           |
| 35 | 上海町字東町350        | 駐車場   | 2,296     | 浅間B軽石下水田跡 (盛土保存)          |           |
| 36 | 倉賀野町字中島5466-5他   | 給油所   | 2,806     | 一部に浅間B軽石下水田跡              |           |
| 37 | 寺尾町字長坂1064       | 駐車場   |           | 遺構・遺物確認できず                |           |
| 38 | 和田多中町184-1,185-4 | 共同住宅  | 1,584     | 一部に浅間B軽石下水田跡              |           |
| 39 | 大八木町字西田5000-1他   | 貸事務所  | 2,554.2   | 一部に浅間B軽石下水田跡              |           |
| 40 | 飯塚町字大東1008他      | 店舗    | 15,388.86 | 浅間B軽石下水田跡 (F A) 洪水層下水田跡   | 飯塚大東東遺跡   |
| 41 | 飯塚町字道場751        | 福祉施設  |           | 底に割平され、遺構・遺物なし            |           |
| 42 | 金井瀬町字伊勢原、諏訪平     | 市営住宅  |           | 遺構・遺物なし                   |           |
| 43 | 町原町字前田、下田        | 土地改良  |           | 遺構・遺物なし                   |           |
| 44 | 下大島町字義川          |       |           |                           |           |
| 45 | 堀原町字一丁出239-1,3   | 店舗    | 1,583     | 古墳群部 墳場出土 他は遺構なし (盛土保存)   |           |

|    |                  |        |          |                           |        |
|----|------------------|--------|----------|---------------------------|--------|
| 46 | 山名町字下山12109他     | 倉庫     | 3,871.01 | 遺構・遺物なし                   |        |
| 47 | 南大瀬町字花園1295-1    | 共同住宅   | 821.00   | 一部に浅間B軽石下水田跡              |        |
| 48 | 下笠原町字代地325-4     | 事務所    | 326.96   | 遺構・遺物なし                   |        |
| 49 | 高松町13            | 駐車場    |          | 高崎城本丸土居部分か 遺構未確認          |        |
| 50 | 筑前町字東町20-4       | 共同住宅   | 896      | 地名F A下水田跡 一部に浅間B軽石下水田跡    |        |
| 51 | 倉賀野町字砂神3083-1他   | 分譲住宅   | 4,236.5  | 一部に浅間B軽石下水田跡              |        |
| 52 | 前大瀬町字西川1361-19他  | 貸事務所   | 1,441.75 | (大瀬城址内) 住居跡 土坑 井戸跡 (盛土保存) |        |
| 53 | 京目町字砂神1336-1他    | 貸店舗    | 4,365.32 | 溝 (時代不明) 他は遺構なし           |        |
| 54 | 下小島町字立川1310-1    | 共同住宅   | 626.43   | 洪水層下水田跡か (保存)             |        |
| 55 | 飯塚町字左近335-1      | 共同住宅   | 683.00   | 一基 (溝) より遺物出土             |        |
| 56 | 高松町13-2          | 電気局示板  |          | 高崎城本丸土居跡一部                |        |
| 57 | 上大瀬町字香宮769他      | 事務所    | 988.96   | 古墳時代～近・現代溝7条              | 16ページ  |
| 58 | 八幡町字五分338他       | 駐車場    | 2,454    | 底に割平され、遺構・遺物なし            |        |
| 59 | 筑前町67-3          | 共同住宅   |          | 溝・土坑、炭石遺構 遺物なし            |        |
| 60 | 八幡町字大島原1414      | 公園     |          | 古墳石室 住居跡 遺物出土 (保存)        |        |
| 61 | 高岡町字村前56-1,57-1  | 店舗     | 1,282    | 鉄釘 遺構未確認                  |        |
| 62 | 石原町字前田1398,1399  | 共同住宅   | 1,376.57 | 遺構未確認                     |        |
| 63 | 東町19-4           | 立体駐車場  | 1,357.93 | 遺構・遺物なし                   |        |
| 64 | 芝塚町1874          | 共同住宅   | 2,977.35 | 住居跡 古墳時代～中世遺物出土           |        |
| 65 | 倉賀野町字吹付1386他     | 倉庫兼農産物 | 3,980    | 遺構・遺物なし                   |        |
| 66 | 上大瀬町字東町879-1他    | 店舗     | 9,198    | 浅間B軽石下水田跡                 |        |
| 67 | 上笠原町563,582-9    | 道路改良   |          | 浅間B軽石下水田跡 B下土層から遺物出土      |        |
| 68 | 上笠原町字下松57-1      | 店舗     |          | 浅間B軽石下水田跡 (保存)            |        |
| 69 | 白鳥町字村前458-1      | 通信用鉄塔  | 231      | 浅間B軽石下水田跡 浅間C軽石堆積         | 18ページ  |
| 70 | 八幡町字下谷津965-3     | 分譲住宅   |          | 遺構・遺物なし                   |        |
| 71 | 上大瀬町字西町地1033     | 事務所    | 1,354.32 | 遺構・遺物なし                   |        |
| 72 | 中沢町1丁目4-6        | 分譲住宅   | 1,958    | 遺構・遺物なし                   |        |
| 73 | 飯塚町字西川1447-3,3   |        | 1,500    |                           |        |
| 74 | 岩井町113-8,10      | 共同住宅   | 736.21   | 浅間B軽石下水田跡                 | 岩井町V遺跡 |
| 75 | 上島町字上後原1168-1他   | 老人ホーム  | 5,319    | 弥生時代を中心とする遺物出土 (保存：一部調査)  |        |
| 76 | 江木町字筑紫路5412-1他   | 結核施設   | 2,973.17 | 弥生 他は遺構・遺物なし              |        |
| 77 | 倉賀野町字中井大必寺3375-1 | 研究所    | 3,558.77 | 住居跡 遺物出土 一部に浅間B軽石堆積 (保存)  |        |
| 78 | 飯塚町字西町810-2      | 分譲住宅   | 3,383.61 | 遺構・遺物なし                   |        |
| 79 | 下笠原町字西元敷533他     | 分譲住宅   | 4,822.88 | 遺構・遺物なし                   |        |
| 80 | 上島町町字西町914-1他    | 道路拡幅   | 336      | 弥生～平安時代遺物出土 住居跡 (本調査)     |        |
| 81 | 八代町2-3-6         | 専門学校   | 811      | 遺構・遺物なし                   |        |
| 82 | 高松町36            | 病院施設   | 300      | 古墳時代遺物出土 住居跡              |        |

平成6年度高崎市内試掘調査一覧表 (続き)

|    |               |       |          |                      |          |
|----|---------------|-------|----------|----------------------|----------|
| 70 | 緑町字新井内        | 水路    |          | 遺構・遺物なし              |          |
| 71 | 大八木町字平塚跡736他  | 社宅    | 2,426.54 | 遺構・遺物なし              |          |
| 72 | 上中沢町字砂地他      | 店舗    |          | 浅間B軽石下水田跡 (盛土保存)     |          |
| 73 | 下之瀬町字村前650-1他 | 菜場    | 3,369    | 浅間B軽石下水田跡            | 下之瀬村前B遺跡 |
| 74 | 京町            | 立体駐車場 |          | 浅間B軽石下水田跡 浅間A軽石堆積    |          |
| 75 | 上島町町字新井       | 道路跡地  |          | 一里塚周辺調査              | 一里塚整備    |
| 76 | 中沢町4丁目17-9    | 共同住宅  | 1,261.48 | 浅間B軽石下水田跡 基礎部分調査 大規模 |          |
| 77 | 矢中町字村前108-1他  | 共同住宅  | 2,089    | 浅間B軽石下水田跡            | 矢中村西1遺跡  |

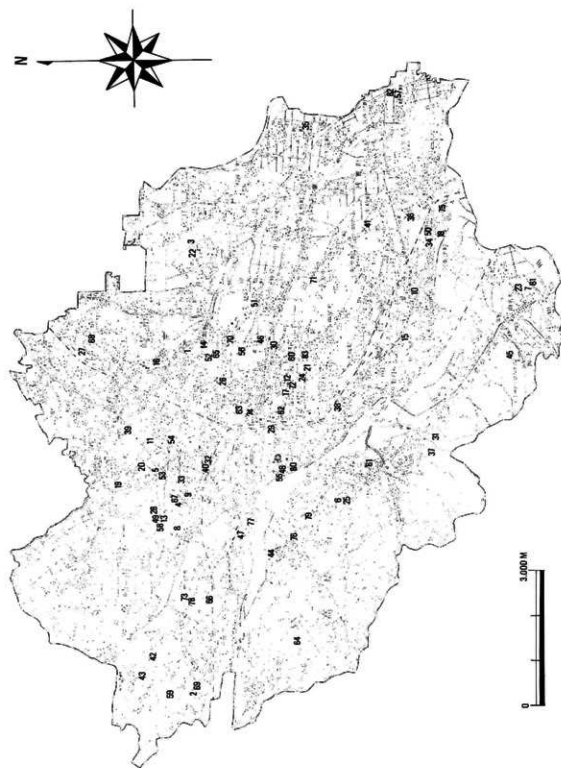


図1 平成7年度試掘調査位置図

## 調査内容

### 3. 京目町天水

- (1) 所在地 京目町字天水614-1  
 調査期間 1996年4月18日～20日  
 対象面積 225㎡  
 調査面積 52.50㎡  
 (2) 開発内容 移動通信用鉄塔建設  
 (3) 経過と成果

#### ① 経過

対象地は高崎市の東部に所在し、関越自動車道高崎インターチェンジの北西に位置する。現況は水田に盛土をした駐車場であり、標高は約88mになる。対象地周辺では南方の井野川沿いに元鳥名遺跡、鈴ノ宮遺跡、矢島町薬師遺跡、宿大類遺跡群が存在し、弥生～平安時代住居跡、方形周溝墓、古墳等が検出されている。さらに近隣地区では浅間B軽石の堆積が認められ、その下層より検出される平安時代後期水田跡を島野大岩遺跡、元鳥名瓦井遺跡などより、散状遺構を島野神明遺跡より検出している。また、元鳥名瓦井遺跡では縄文時代草創期の尖頭器が出土している。

このような対象地において、移動通信用鉄塔建設が計画された。開発面積はさほど広くないが、計画では基礎工事が深く、遺構が存在する場合は遺構面まで工事が及ぶことは確実であった。周辺の状況から浅間B軽石下平安時代後期水田跡の存在が予想されるため、試掘調査範囲を鉄塔工事部分全体とし、遺構が存在する場合は記録調査も同時に実施することとして調査を開始した。



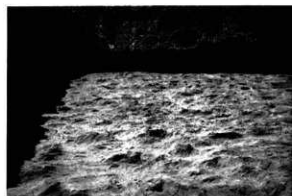
図2 位置図



調査区西（南から）



調査区東（南から）



水田面（北から）



調査区断面（南から）

## ② 成果

調査は排水位置の関係により、鉄塔工事部分を東西2回に分けて行った。その結果、浅間B軽石が5～10cm堆積しており、その下層は良好な状態で残存していた。明確な畦畔の検出はなく、自然科学分析も実施していないが、平安時代後期水田跡となることが推定される。水田面は凹凸が多く、径50cm程度の範囲が3～4cm高くなっている。南側では馬蹄跡と思われる凹みを確認した。調査区北側では約4cmの高低差が認められ、北から南へ下る段差となっている。これは東西方向畦畔の形跡と推定される。

水田面以前の遺存存在の有無を確認するため、2ヵ所において下層の観察を行った。断面2部分では、黒褐色水田土壌下に洪水堆積層と思われる褐色粘土層(図3～7層)があり、その下層に浅間C軽石を少量含む黒色粘土層(8層)を確認した。断面3では7層下には黒色粘土層はなく、8層に対応すると思われる灰黄褐色粘土層(10層)が存在する。近隣地区では平成6年度試掘調査「39. 島野町大岩、一ツ谷東」において浅間C軽石下に黒色粘土層が確認されており、「67. 京目町杉の内」では対象地同様洪水層下より浅間C軽石を含む黒色粘土層が確認されている。周辺の状況から8層上面や浅間C軽石降下前においても水田耕作が行われていたことが考えられるが、断面2、3の違いから断定することはできない。

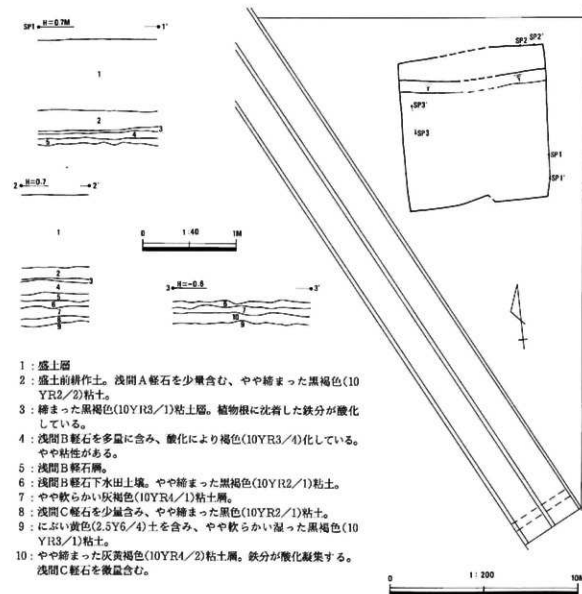


図3 平面図・断面図

## 11. 間屋町西

(1) 所在地 間屋町西1丁目10-8

調査期間 1995年5月26日、6月26日～30日

対象面積 263.29㎡

調査面積 34.12㎡

(2) 開発内容 共同住宅建設

(3) 経過と成果

### ① 経過

対象地は高崎市中心部より北方約3kmに位置し、間屋町造成・区画整理事業等により早くから市街地化された場所であり、現況地形での標高は約99mになる。対象地周辺では、上小島遺跡、大八木富士廻り遺跡、間屋町西遺跡が調査され、弥生時代中期、後期の遺構・遺物、様名F A下古墳時代小区画水田跡、浅間B軽石下平安時代水田跡が検出されている。

このような対象地において共同住宅建設が計画された。試掘調査を実施したところ、浅間B軽石が堆積しており、水田跡の存在が確認されたため、引き続き試掘調査を実施した。

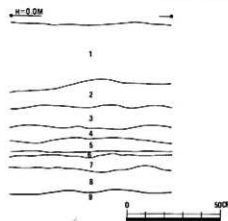
### ② 成果

浅間B軽石は4～8cm堆積しており、その下層からは黒褐色粘土層が確認された。一部掘削されている部分があるが、粘土層上面は平坦となっており、馬蹄跡を確認している。平安時代後期水田跡となることが推定されるが、畦畔等の水田の形態を示すものは調査範囲内からは検出されていない。

平安時代後期水田土壌下には厚さ6～8cmの洪水堆積層が存在している。間屋町西遺跡では様名F A下小区画水田が調査されており、対象地の洪水層下においても同様な水田跡が存在することが考えられ、第2面の調査を実施した。洪水層下は砂粒を含む黒褐色粘土層となっており、その上面は平坦で小丸層が見られる。また、鉄分が酸化凝集し硬くなっている。調査範囲内では洪水層下において水田跡を含めた遺構は存在せず、遺物の出土もない。

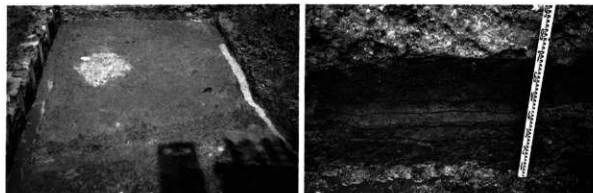


図4 位置図



- 1: 盛土層
- 2: 粗砂を含む、軟らかい黒褐色(10YR3/1)粘土。
- 3: 浅間片軽石・粗砂を多く含む、やや締まった黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 4: 浅間B軽石を多く含む、締まった灰黄褐色(10YR4/2)土。粘性あり。
- 5: 浅間B軽石層。
- 6: 浅間B軽石下水田土壌。締まった黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 7: 粘性を示し、締まった黒褐色(2.5Y3/2)土。
- 8: 粘土に染み込んだ腐植の影により褐色。
- 9: 砂粒を含む、締まった黒褐色(10YR2/2)粘土。上面に小丸層、酸化物あり。
- 9: 砂粒を含む、粘性を示す褐色(10YR4/2)土。

図5 断面図



B軽石下水田跡(東から)

調査区断面(西から)

## 15. 倉賀野町東上正六

(1) 所在地 倉賀野町字東上正六317 他

調査期間 1995年6月6日～9日

対象面積 3,815.16㎡

調査面積 66.58㎡

(2) 開発内容 ファミリーレストラン建設

(3) 経過と成果

### ① 経過

対象地は高崎市南西部の烏川左岸に位置し、現状の標高は約85mになる。周辺には古墳が多く現存し、対象地は国史跡浅間山古墳周堀北側に面する。浅間山古墳は前方後円墳であり、墳丘の全長175m、後円部の径105m、前方部の幅75m、周堀を含めた全長は約250mとなり、群馬県内では太田市天神山古墳に次ぐ規模となっている。



図6 位置図

このような対象地において、ファミリーレストラン建設が計画され、試掘調査を実施した。計画では建物は平屋で、その基礎工事のため計画地盤より49cm下までの掘削が予定されていた。3カ所のトレンチを設定したところ、各トレンチで浅間B軽石の堆積とその下層の黒色粘土層を確認したが、対象地は盛土層が厚く、工事の影響が及ぶ範囲外に遺構は存在していた。南(浅間山古墳)側のトレンチでは、浅間B軽石下面において南側がやや高くなっていたため、他の場所において、さらに浅間山古墳側にトレンチを設定した。その結果、現況地割からは推定されていたが、その存在が確認されていなかった浅間山古墳周堀の竪石と思われる石積みを検出した。開発行為による破壊の恐れはなく地中に保存されるが、開発者及び地主の協力を得て試掘調査期間を延長し、記録調査を実施することとなった。記録調査ではトレンチを拡張または新たに設定した。

### ② 結果

古墳周堀外側の竪石となる石積みを1・2トレンチより検出した。竪石は1トレンチでは1m、2トレンチでは1.5mの範囲内に確認される。古墳からの距離は、現況の後円部墳丘下より約35mに位置する。石は最大で30cmを測り、10cm程度の使用が多い。検出した範囲内での周堀の高低差は1トレンチで60cm、2トレンチで40cmとなる。周堀外を確認するために1トレンチを北側に延長し、また3トレンチを設定した。その結果、断面各層において起伏はみられず、水平に堆積していた。周堀外側における古墳関連遺構の存在は調査範囲内では確認できない。また、埴輪等の遺物はすべてのトレンチにおいて全く出土していない。

対象地南側の現在水田として利用されている周堀は周辺より一段低くなっている。その外側は対象地までの間が市道となっており、道路上面は周堀内水田畦畔より約1m高くなっている。水田と市道との境界(高低差が生じる部分)から竪石下部までの距離は約9～10mとなる。市道上面を基準とすると、1トレンチにおける周堀土の高さは約40cm低く、竪石下部は約1m低くなる。竪石下部は周堀内水田とはほぼ同様な高さとなる。

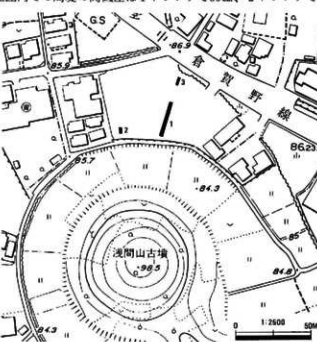
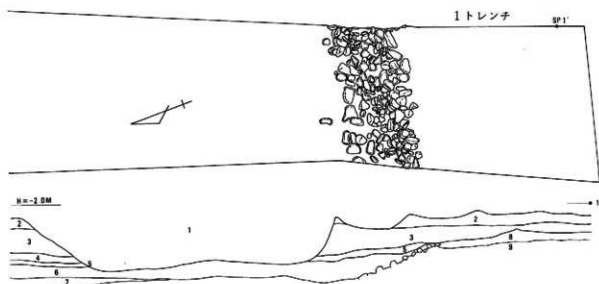


図7 調査位置図



- 1: 盛土層、礫を多量に含む。
- 2: 盛土層下層。暗褐色土。
- 3: 浅間B軽石を多量に含む褐色土。
- 4: 浅間B軽石層。
- 5: 浅間B軽石下層。暗褐色土。
- 6: 粘性に富み、砂分を含む褐色土。
- 7: 粘性に富み、暗褐色土。
- 8: 褐色土(地山)シルト、礫を含む。
- 9: 2～5mmのバリスを多く含む暗褐色土。

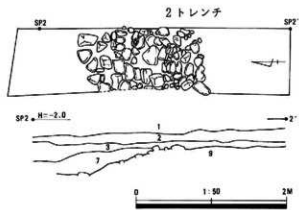


図8 平面図・断面図



2トレンチ (北から)

市道部分は平成6年度舗装工事に立会調査を実施している(平成6年度試掘番号17)が、遺構・遺物が確認できるほどの深い掘削は行われていない。また、対象地西隣接地においても平成6年度に試掘調査を実施している(倉賀野町東上正六316:平成6年度試掘番号2)。1トレンチ北端および3トレンチに相当する場所となり、今回調査同様に浅間B軽石の堆積とその下層の黒色粘土層を確認したが、浅間山古墳と同時代の層からは遺構・遺物は検出できなかった。平成5年度には後円部東側(倉賀野町字甲下正六443:周堀外側の古墳に沿う地割の外側)において試掘調査を実施しているが、遺構・遺物は確認されていない。

対象地内ほぼ全域に5～10cm堆積する浅間B軽石は調査時の地表面より120～160cm下において確認できる。その下層の黒色粘土土面の高さは1トレンチ集境上面より40cmほど低い。



1 トレンチ (北西から)



浅間山古墳 (北東から)



1 トレンチ (北から)



2 トレンチ (北から)

1 トレンチ (北から)

## 22. 京目町稲藪

(1) 所在地 京目町字稲藪653-1 他

調査期間 1995年7月12日, 7月31日～8月7日

対象面積 6,881㎡

調査面積 274.79㎡

(2) 開発内容 遊戯場建設

(3) 経過と成果

### ① 経過

対象地は高崎市の東部、『4. 京目町天水』から関越自動車道を挟み南西約100mに位置する。開発前は中古車販売・運輸会社が営業しており、標高は約88mとなる。周辺では前述(5ページ参照)のように集落及び浅間B軽石下水田跡等が調査されている。

このような対象地において、遊戯場建設が計画された。

既存の開発により破壊されていることも考えられたが、試掘調査を実施した。その結果、遺構面に達する既存の掘削はほとんどなく、浅間B軽石の堆積を確認し、その下層より水田跡を検出した。高崎市教育委員会では遺跡を保存することを開発者と協議を行い、可能な限り遺跡を保存することに協力を得て、やむを得ず工事が必要となる部分のみ調査を行うこととした。なお、図中の高さは標高を表す。

### ② 成果

対象地内の浄化槽工事及び基礎工事部分に8ヶ所のトレンチを設定し調査を行った。その結果、各トレンチにおいて浅間B軽石下平安時代後期水田跡を検出し、延べ7条の畦畔を確認した。

1 トレンチでは東西方向畦畔を検出した。幅は50～70cm、高さは2～6cmと低く、やや南へ曲がる。畦畔南側水田面の標高87.6m程度となり、確認できる範囲内では北側水田面より1～2cm低くなる。水田面には小凹凸が多くみられるが、その起因は不明である。

2 トレンチでは中央部分に後世の掘り込みがあるが、トレンチ西側において東西・南北方向畦畔交点を検出した。形状は両畦畔共に明瞭で、南北方向畦畔が幅70cm、高さ10cmとなり、東西方向畦畔が高さ5cmとなる。西側水田面は標高87.80～87.85mとなり、東へ緩やかに傾斜する。東側水田面では足跡とみられる凹みが多く、標高は87.7m程度となる。

3 トレンチでは明瞭な畦畔は検出されず、2 トレンチ同様中央部分に後世の掘り込みがある。掘り込みの西脇はやや高くなっており、畦畔の裾野と思われる。水田面は西側で足跡とみられる凹みが多く、標高は87.6～87.7mとなり東側が低くなる。

4 トレンチでは東西方向畦畔を検出した。幅は70cm、高さは3cmとなる。水田面は標高87.6mとなる。

5 トレンチでは南北方向畦畔と2ヶ所の畦畔交点を検出した。北側の交点は4 トレンチより検出した畦畔の延長と思われる。南側の交点はT字状になる。畦畔の形状は計測できる部分で幅80cm、高さ6cm程度となり、水田面の標高は87.6mとなる。

6 トレンチでは2 トレンチより続くと思われる南北方向畦畔を検出した。形状は不明瞭だが、畦畔の高さは7cm以上となり、南側で東へ曲がる。水田面の標高は87.7mとなり、畦畔東側では低くなるもの



図9 位置図

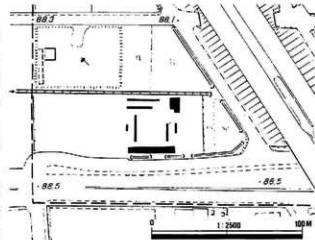


図10 調査位置図

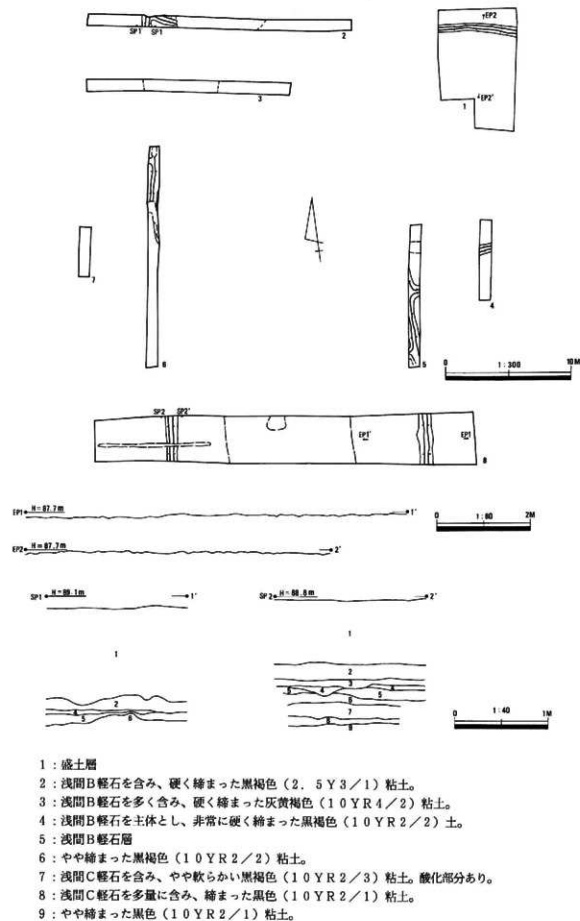


図11 平面図・断面図

と推定される。

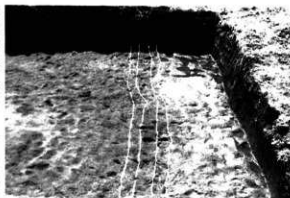
7トレンチでは畦畔等の検出はない。水田面の標高は87.8mとなり、検出中最高点となる。

8トレンチでは、中央部分には浅間B軽石が残存しないが、東側より5トレンチから続く南北方向畦畔、西側においても2, 6トレンチから続くと推定される南北畦畔を検出した。東側畦畔の形状は幅100~120cm、高さ5cmとなる。水田面の標高は畦畔東側で87.6mとなり、畦畔西側では約5cm高くなる。西側畦畔では幅80~100cm、高さ6cmとなる。水田面の標高は畦畔東側で87.7mとなり、畦畔西側では約7cm高くなる。

全体的に水田面をみると、西から東へ下る緩やかな傾斜となっており、畦畔の形状は南北方向畦畔が高く畦畔両端において標高差がある。東西方向畦畔が低い形状となっている。



1トレンチ (南から)



1トレンチ畦畔 (東から)



2トレンチ (西から)



8トレンチ (東から)



5トレンチ (南から)



5・8トレンチ畦畔 (南から)



6・8トレンチ畦畔 (南から)

### 33.飯塚町慈音寺

(1) 所在地 飯塚町慈音寺1013

調査期間 1995年8月25日, 9月25日～29日

対象面積 695.00㎡

調査面積 64.08㎡

(2) 開発内容 共同住宅建設

(3) 経過と成果

① 経過

対象地は高崎市中心部から北方約2km、宅地の中に農地が残る地域に位置し、標高は約100mになる。周辺では西方に並根北遺跡、南方に飯塚厩田・新田西遺跡があり、弥生・古墳・平安時代の水田跡が調査されている。このような対象地において共同住宅建設が計画され、

試掘調査を実施した。その結果、浅間B軽石下平安時代

後期水田跡、標名F Aの堆積とその下層の黒色粘土を確認した。工事では基礎が這構面に達するため、その部分を調査することになった。

② 成果

建物基礎のベースが8ヶ所となるため、その部分にトレンチを設定した。第1面となる浅間B軽石下平安時代後期水田跡は、試掘時においても南北方向畦畔を確認しているが、東西方向2条の畦畔を検出した。6～8トレンチで検出した北側畦畔の形状は、幅が40～60cm、高さが4～7cmとなる。畦畔両脇での高低差は、1～2cm程度となり、北側がやや高い。1～4トレンチで検出した南側畦畔の形状は、幅が60～80cm、高さが7～10cmとなる。畦畔両脇での高低差は、2～4cm程度となる。試掘調査時に検出した南北方向畦畔は、3・4トレンチ間、7・8トレンチ間に存在すると推定され、形状は北側畦畔同様にやや低平であった。近隣地区の発掘調査成果より、対象地内も条甲制区画の一部と考えられる。

第2面となる標名F A黒色粘土面は、並根北遺跡、飯塚厩田・新田西遺跡において検出した小区画水田となることが予想されたが、畦畔は確認されなかった。面は降下により堆積した純層の標名F Aに覆われている

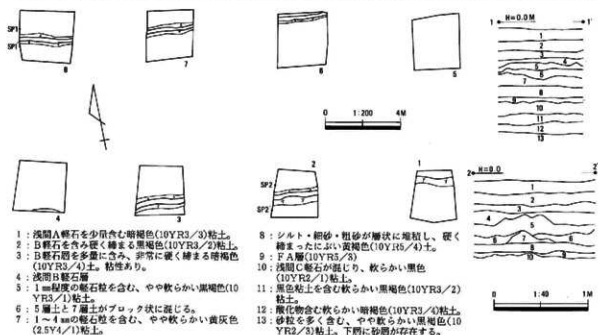


図13 B軽石下水田跡平面図・断面図



図12 位置図

が、一部に二次堆積層下部分もみられる。第2面では人足跡、馬跡を多く検出した。検出数は各トレンチ合計で人足跡111、馬跡80、不明20となる。8トレンチでは検出数が多い(右図)が、歩行・走行を示すものではなく、他トレンチも同様となる。各トレンチの面を検出した高さを比較すると、全体的には北西から南東へ緩やかに下がっているが、3トレンチではやや高くなっており、また1トレンチでは南東隅が多少傾斜が急となる。第2面は水田施設の一部となることも考えられるが、自然科学分析等を実施していないため、水田跡となるかは不明である。また、さらに下層における遺跡は確認できない。

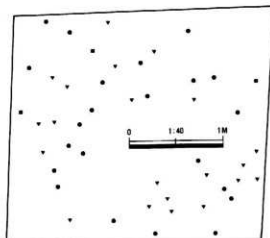


図14 F A下足跡検出状況図(●人, ▼馬跡, ■不明)



3トレンチB軽石下水田跡(西から)



7トレンチB軽石下水田跡(北から)



2トレンチ断面(東から)



5トレンチ断面(西から)



2トレンチF A下面(北から)



5トレンチF A下面(北から)

## 56. 上大類町若宮

(1) 所在地 上大類町字若宮 他

調査期間 1995年11月9日、20日～24日

対象面積 988.56㎡

調査面積 78.22㎡

(2) 開発内容 事務所建設

(3) 経過と成果

① 経過

対象地は高崎市中心部より東方約2.5km、土地区画整理事業により宅地化が進む地区内に位置する。以前は蛇行していた一貫堀川の南側に面し、現況の標高は約99mとなる。周辺では上大類野地田遺跡、高閑塚田遺跡において浅間B軽石下水田跡が調査され、高閑北沖遺跡において浅間B軽石の堆積が確認されている。

このような対象地において民間会社事務所建設が計画され、試掘調査を実施した。その結果、浅間B軽石の堆積はないが、重複する溝を確認し、遺物を検出した。工事計画では遺構面に及ぶ掘削が予定されるため、調査区を拡大し、溝の調査を実施することになった。

② 成果

調査の結果、7条の溝が重複することが確認された。各溝の新旧を比較すると、SD1・2が新しくSD5、SD4、SD3、SD7と古くなる。時代はSD1・2が浅間A軽石降下後、SD5・4・3がB軽石降下以前C軽石降下後となる。位置をみると南西から北東へと新しくなり、古い溝が埋没した後にその北東に新しい溝が流れていることが断面3から観察できる。遺構確認面での各溝の形状は、SD1が幅50～80cm、深さ15～



図15 位置図



試掘トレンチ (東から)



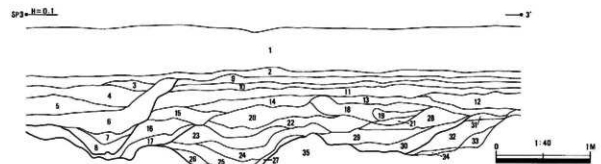
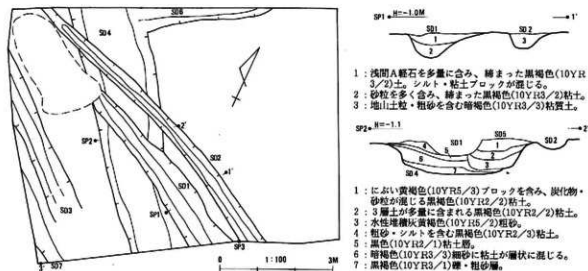
調査区断面 (北から)



調査区 (南から)



調査区 (東から)



- 1: 砂土および粘土層
- 2: 浅間A軽石を多量に含む、硬く締まった黒褐色(10YR3/2)土。シルト・粘土ブロックが散在する。
- 3: 浅間B軽石を少量含む、硬く締まった黒褐色(10YR3/2)粘土。
- 4: 地山土を多く含む暗褐色(10YR3/3)粘土。
- 5: 地山土を多く含む暗褐色(10YR3/3)粘土。
- 6: 浅間A軽石を多量に含む、やや粘性のある黒褐色(10YR3/2)土。
- 7: A軽石を塊状に含む、やや粘性のある黒褐色(10YR3/2)土。
- 8: A軽石を少量含む、硬く締まった黒褐色(10YR3/2)粘土。
- 9: B軽石を多量に含む、硬く締まった暗褐色(10YR3/4)土。粘性あり。
- 10: 硬く締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 11: やや軟化している褐色(10YR4/1)粘土。
- 12: 硬く締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 13: 褐色(10YR4/4)シルトと12層土がブロック状に混在する。
- 14: シルトを少量含む、硬く締まった黒褐色(10YR3/1)粘土。
- 15: 粗・細砂を含む、硬く締まった暗褐色(10YR3/2)粘土。酸化部分あり。
- 16: 地山土、暗褐色(10YR3/3)シルトを含む黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 17: 地山土を少量含む、硬く締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 18: 褐色(10YR4/4)シルトを少量ブロック状に含む黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 19: シルトを含む、やや締まった黒褐色(10YR3/3)粘土。
- 20: 黒褐色(10YR2/3)粘土と褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に混在する。
- 21: 水性堆積による灰褐色(10YR4/2)細砂層。
- 22: シルト・粘土ブロックを含む、やや締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 23: 地山土を多く含む、粘土とシルトが混在する黒褐色(10YR2/2)土。
- 24: 少量のシルト、少量の小礫・地山土を含む黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 25: シルト・細砂・粗砂を層状に含む、硬く締まった黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 26: 黒褐色(10YR2/3)シルトを層状に含む、やや締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 27: 水性堆積による暗褐色(10YR3/3)砂層、粘土ブロックが散在する。
- 28: やや締まった土に灰褐色(10YR4/2)シルト・細砂層。
- 29: シルト・粗砂を層状に含む、黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 30: やや締まった灰褐色(10YR4/2)シルト主体層。粘土・粗砂を含む。
- 31: しまった黒褐色(10YR2/2)粘土。
- 32: シルト・粗砂が混在する土に灰褐色(10YR3/3)層。
- 33: やや締まり、浅間C軽石を含む黒褐色(10YR2/1)粘土。
- 34: 粗・小礫を含む暗褐色(10YR2/2)粘土。
- 35: 粘性強く、硬く締まった暗褐色(10YR3/3)地山土。

図16 平面図・断面図

30cmとなる。SD1にはほぼ並行するSD2は幅30～50cm、深さ5～20cmとなる。SD1・2共に南東が低くなる。断面3では7・8層がSD1覆土となり、南西が高い地形の端に位置する溝となり、高低差が80cmあることがみられる。SD5は平面では確認できなかったが、断面2の1・2・3層が覆土となり、断面3では16・17層が覆土と想定される。SD4は幅130～180cm、深さ30～40cmとなり、南東が低くなる。断面3では24～27層が覆土となる。SD3は幅60～70cm、深さ10cm程度を測るが、断面3では29・30層が覆土となり、幅170cm、深さ40cmとなる。SD7はSD3の南西に位置し、調査区内では最も古い溝となる。断面3では31～34層が覆土となる。溝の南西は50cm高く、浅間C軽石を含む黒色粘土面となる。出土遺物(20ページ図19)は、SD3より56-1、2が、SD4より56-3、5があり、試掘調査時に56-4が出土している。

## 68. 日高町村前

(1) 所在地 日高町字村前458-1

調査期間 1995年12月19日

1996年1月22日～26日

対象面積 231㎡

調査面積 51.40㎡

(2) 開発内容 移動通信用鉄塔建設

(3) 経過と成果

### ① 経過

対象地は高崎市北東部、市中心部から約5kmに位置し、現況の標高は約99mとなる。周辺では北方約0.6kmに史跡日高遺跡があり、現在整備事業を進めている。西方では中尾村前遺跡、北西では日高中瀬遺跡があり、浅間B・C軽石下水田跡等が調査されている。

図17 位置図

このような対象地において、移動通信用鉄塔建設が計画され、試掘調査を実施した。その結果、浅間B軽石下水田(畦畔)、浅間C軽石の堆積とその下層の黒色粘土層を確認した。建設工事では深く掘削するために、工事部分を調査し、他の部分は盛土保存することとなった。

### ② 成果

調査は第1面を浅間B軽石下面、第2面を浅間C軽石下面とし実施した。第1面では平安時代後期水田跡を確認した。東西・南北方向畦畔各1条を検出し、その形状は東西方向畦畔では高さ7cm、南北方向畦畔では幅65cm、高さ6cmとなる。水田面はほぼ平坦で、標高は98.3mとなる。

第2面は浅間C軽石下黒色粘土面となるが、畦畔等の水田施設は検出されず、自然科学分析を実施していないため水田跡となるか不明である。地形は緩やかに北西から南東に下っており、高低差は約5cmを測り、標高は調査区中央付近では98.05mとなる。第2面ではSD1を検出した。浅間C軽石降下後の遺構となり、覆土には浅間C軽石・機名F Aブロックが含まれる。形状は幅40～50cm、深さ10cm程度となり、南側僅かに低くなる。

調査時は任意のベンチマークを設定し、測量を行ったが、ベンチマークの標高は99.344mとなる。平面図における等高線はベンチマークに対するものである。



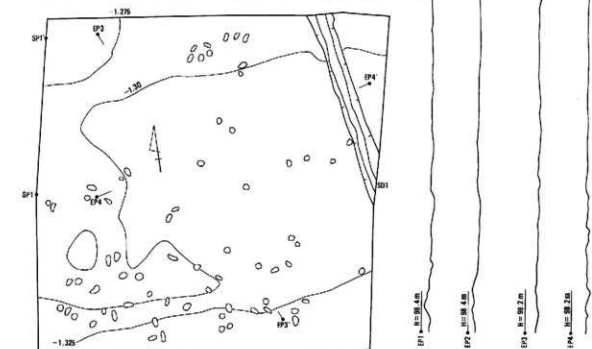
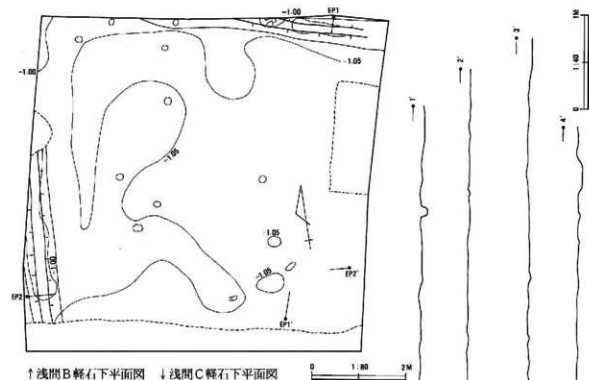
調査区断面(東から)



B軽石下水田跡(東から)



C軽石下面(東から)



- 1: 浅間A軽石を含む暗褐色(10YR3/3)泥砂状土。
- 2: A軽石を余り、炭化した暗褐色(7.5YR3/4)砂質土。
- 3: B軽石を含み、硬く締まる暗褐色(10YR3/4)粘質土。
- 4: B軽石を多量に含み、硬く締まる褐色(10YR4/4)粘土。
- 5: B軽石を多量に含み、締まる灰黄褐色(10YH4/2)粘質土。
- 6: 浅間B軽石層。
- 7: 締まった黒色(10YR2/1)粘土。
- 8: C軽石を少量含む、締まった黒褐色(10YR2/3)粘土。
- 9: F Aブロックを多量に含む黒色(10Y10.7/1)粘土。
- 10: 浅間C軽石層。
- 11: B軽石を主体とし、粘性のある黒褐色(10YR2/2)土。
- 12: 黒色(10YR1.7/1)粘土。
- 13: ややしまった黒色(10YR2/1)粘土。
- 14: にぶい黄褐色土ブロックを含む黒褐色(10YR2/2)粘土。

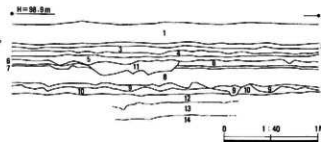


図18 平面図・断面図

出土遺物

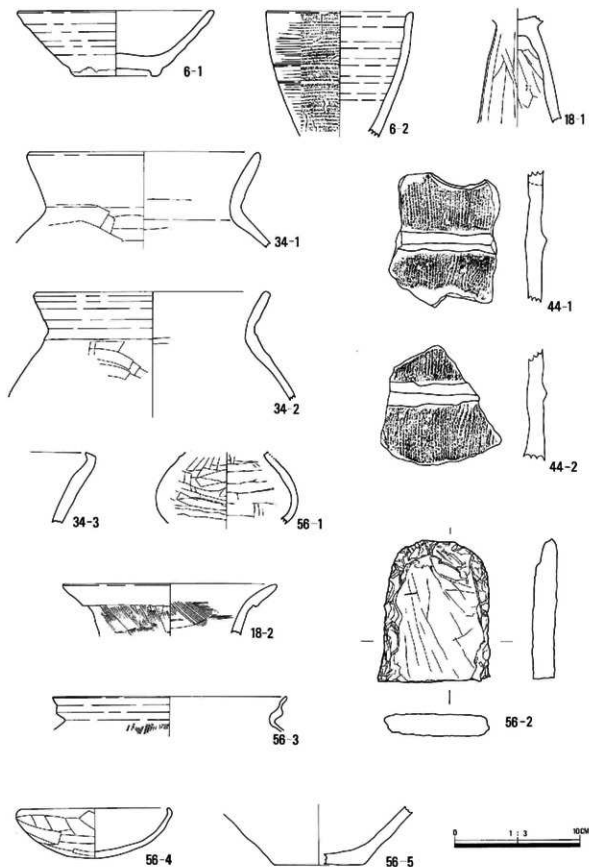


図19 出土遺物実測図

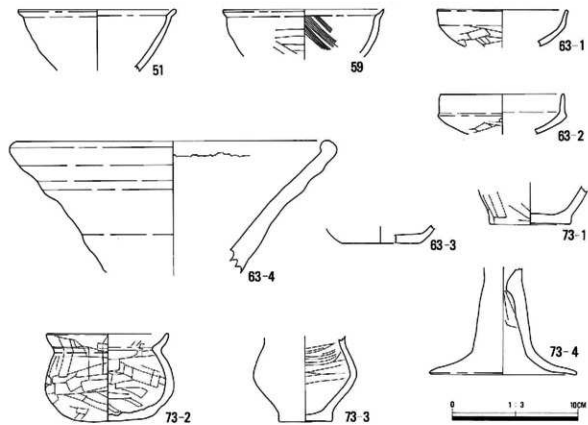
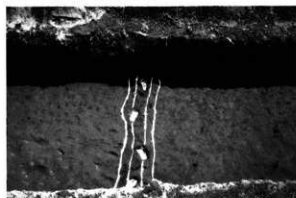


図20 出土遺物実測図

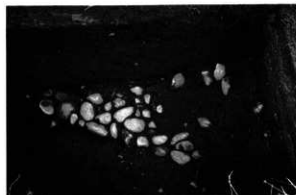
その他の試掘調査



4. B 軽石下水田跡畦畔（西から）



39. B 軽石下水田跡畦畔（北から）



44. 古墳墓石（北から）



73. 遺物出土状況（西から）

# 抄 録

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| ふりがな  | たかしましなないせいさまいごうぶんかざいきんぎゅうはくくつちょうきほうちょうしゅ |
| 書名    | 高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書10                   |
| 副書名   |                                          |
| 巻次    |                                          |
| シリーズ名 | 高崎市文化財調査報告                               |
| シリーズ番 | 第139集                                    |
| 編著者名  | 志田 登                                     |
| 編集機関  | 高崎市教育委員会                                 |
| 所在地   | 〒370 群馬県 高崎市 高松町1                        |
| 発行年月日 | 1996年 3月 29日                             |

高崎市文化財調査報告書第139集  
高崎市内遺跡埋蔵文化財  
緊急発掘調査報告書10

平成8年3月29日印刷  
平成8年3月29日発行

編集者 高崎市教育委員会  
文化財保護課埋蔵文化財係  
発行者 高崎市教育委員会  
印刷所 荒瀬印刷株式会社

